

教科（科目）	国語（国語総合）	単位数	4単位	学年	1学年（必修）
使用教科書	第一学習社『高等学校 改訂版 標準国語総合』				
副教材等	第一学習社『完全マスター古典文法』 浜島書店『常用漢字の1・2トライ』・『論読 現代文1』				

1 学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

2 指導の重点

- ・漢字、語彙に関する知識を広げるとともに、文語や訓読のきまりを理解する。
- ・教材の読解を通して豊かな感受性を養い、言語能力を高める。
- ・創作活動を通じて思考力、表現力を養う。
- ・伝統的な言語文化への興味、関心を広げる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	小説（一）	芥川龍之介 『羅生門』	・登場人物の行動や心理、置かれている状況を読み取る。	15	定期テスト
5	古文入門 （一）	『竹取物語』 「なよたけのかぐや姫」	・歴史的仮名遣いの読み方 ・古文の基礎の確認 ・古文ノートの作り方	5	授業の取組 提出物
	中間考査			1	
6	古文入門 （二）	『竹取物語』 「なよたけのかぐや姫」	・古文の特徴を確認し、知識を定着させる。 ・動詞の活用1	5	定期テスト 授業の取組 小テスト 提出物
	漢文入門	訓読に親しむ （一）（二）（三）	・訓読のきまりを理解させる。 ・漢文ノートの作り方	9	
	漢字テスト	『常用漢字の1・2トライ』（P4～7）			
	定期テスト			1	
7	古文入門 （二）	『竹取物語』 「なよたけのかぐや姫」	・動詞の活用2 ・動詞の活用を定着させる。	5	定期テスト 小テスト 授業の取組
	故事成語	「蛇足」	・漢文訓読の基本事項を定着させる。	5	
8	評論（一）	山崎正和 「水の東西」	・論理的文章の展開を学ぶ。 ・二項対立や抽象化などの論理的思考について学ぶ。	5	定期テスト 授業の取組 提出物
	古文に親しむ	『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」	・古文に親しみをを持たせる。 ・形容詞、形容動詞の活用 ・助動詞の活用1	10	
9	漢字テスト	『常用漢字の1・2トライ』（P24～27）			定期テスト 授業の取組 提出物
	中間考査			1	
10	物語と日記	『伊勢物語』 「筒井筒」	・歌物語について理解させる。 ・和歌の修辞法 ・助動詞の活用2	15	定期テスト 授業の取組 提出物
	漢字テスト	『常用漢字の1・2トライ』（P28～33）			
11	評論（二）	伊藤進 「コミュニケーションは創造的に」	・文章読解力を高める。 ・日本人の思考の特性について理解を深める。	6	定期テスト 授業の取組 提出物
	漢字テスト	『常用漢字の1・2トライ』（P34～37）			
	短歌と俳句	「清水へ」	・表現方法と効果、作者について学ぶ。	9	

12	定期考査			1		
	史伝を読む	「鶏口牛後」	・内容を理解し、故事成語の意味を学ぶ。	5	課題テスト 授業の取組 提出物	
	漢詩の鑑賞	唐詩の世界・王維 「送元二使安西」	・中国文学、文化の関心と理解を深める。 ・漢詩のきまり、形式を理解させる。	5		
	1	漢詩の鑑賞	唐詩の世界 李白「静夜思」 杜甫「春望」	・詩に読まれた心情を読み取る。 ・対句表現を理解させる。 ・漢詩訓読のリズムをつかませる。	4	定期テスト 授業の取組 提出物
		史伝を読む	「先従隗始」	・漢文訓読の基本を習得させる。	8	
		漢字テスト	『常用漢字の1・2トライ』(P48～51)			
	2	物語と日記	『土佐日記』 「門出」	・日記文学、作者について理解させる。 ・十二支、旧暦月名を覚える。 ・助動詞の活用3	10	定期テスト 授業の取組 提出物
		漢字テスト	『常用漢字の1・2トライ』(P52～53)			
		定期テスト			1	
		史伝を読む	「完璧」	・漢文訓読の基本を習得させる。	4	
		問題演習	『論読 現代文1』	・評論、小説の問題の解き方を理解させる。	4	
	3					

計 140 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・各月毎に2～3回漢字テストがあり、副教材より出題する。 ・定期的にノートを提出する。 ・見附市文芸祭作品を提出する。 ・長期休業中の課題（副教材）を提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ○春休み…「論読 現代文1」 ①②③④ P 4～P 131 ○夏休み…「常用漢字の1・2トライ」 P 12～P 23 (1学期の授業残り) 「論読 現代文1」 ⑤～⑩ P 14～P 33 ○冬休み…「常用漢字の1・2トライ」 P 38～P 47 (2学期授業残り) ○春休み…「常用漢字の1・2トライ」 P 54～P 63 (3学期授業残り) 「論読 現代文1」 ⑪～⑮ P 34～P 47 ・長期休業後は課題テストを行う。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を意図している。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、発展させている。	目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組（授業態度、学習活動への参加状況など） ・提出物の提出状況（提出物の内容、および期限を守っての提出） ・授業に必要な物は必ず持参する。（教科書、ノート、辞書、副教材等） ・漢字テスト（16回程度） ・小テスト（学習内容の理解を確認する。） ・課題テスト ・定期テスト <p>などから、総合的に判断し、評価する。</p>				